

町民マラソン大会における地震・津波対応について

○大規模運動公園防災マニュアルに基づいて対応します。

1 緊急地震速報または強い揺れを感じたら

①大会本部スタッフが震度を確認します。

⇒震度5弱以上の場合 ～ 競技は中止。

⇒震度4以下の場合 ～ 競技は継続。ただし、走行に支障があると大会本部が判断した場合、中止もありえます。

※競技中止（津波注意報・警報発表なし）の場合、道路状況を確認の上、走行中の選手は待機しているスクールバスで回収。スクールバスが走行できない場合は、折り返し監視員、後続車担当員、交通指導員の指示により徒歩で総合グラウンドまで誘導します。

2 津波注意報・津波警報・大津波警報が発表されたら

②大会本部で、注意報・警報の種類を確認します。

⇒津波注意報の場合 ～ 競技は中止。

※折り返し監視員、後続車担当員、交通指導員等スタッフに注意報発表を大会本部から伝達。

(1) 走行中の選手 ～ 2km・3kmの選手は、折り返し監視員、後続車担当員、交通指導員の指示により、徒歩で総合グラウンドまで戻ります。（移動が困難な場合は、スタッフの車に乗車。）

6kmの選手は、折り返し監視員、後続車担当員、交通指導員の指示により、徒歩またはスタッフの車に乗車して総合グラウンドまで戻ります。

※総合グラウンド到着後、参加者を確認して解散。（避難または帰宅。）

(2) それ以外の選手・観客 ～ 各自の判断にて、避難または帰宅。

⇒津波警報・大津波警報の場合 ～ 競技は中止。

※折り返し監視員、後続車担当員、交通指導員等スタッフに警報発表と避難指示を大会本部から伝達。

(1) 走行中の選手 ～ 2km・3kmの選手は、折り返し監視員、後続車担当員、交通指導員の指示により、徒歩で一時避難場所の霧多布高校へ避難します。（移動が困難な場合は、スタッフの車に乗車。）

6kmの選手は、折り返し監視員、後続車担当員、交通指導員の指示により、徒歩またはスタッフの車に乗車して一時避難場所の霧多布高校へ避難します。

(2) それ以外の選手・観客 ～ 大会本部の指示・誘導により、徒歩で一時避難場所の霧多布高校へ避難します。

※児童・生徒は、避難後、各学校等に協力いただき、人数確認等を行います。

※原則、選手は一度、霧多布高校へ避難します。